

平日限定

板橋区立 教育科学館

ITABASHI SCIENCE AND EDUCATION HALL

団体利用

プログラム



ITABASHI Science
& Education HALL
板橋区立教育科学館



2025.10.18 初版発行

「人」を展示する科学館

板橋区立教育科学館では、令和4年4月1日より、CTC 共同事業体(株式会社コングレ、株式会社東急コミュニティ)が新たに運営を開始しました。板橋区直営時代から、前・運営事業者である株式会社学研プラス様まで、長きにわたる真摯な教育活動によって培ってこられた、地域の皆様からの大きな信頼と愛情。このとても重たいバトンを、私たちは責任持って受け継ぎ、これからの時代に必要な科学館とはどのようなものなのか、この板橋の地にしっかりと根を張り、板橋の地から考え、全世界に発信して参ります。

さて、この板橋区立教育科学館の運営を始めるに際し、私たちは新たに「人を展示する科学館」という運営テーマを設定いたしました。これは、当館の設置趣旨「身の回りにある科学を紹介する」ということの、私たちなりの解釈を表しています。

開館から30余年たった現在、サイエンスやそれに紐づくテクノロジー、ロボティクスなどの発展はめざましく、たった数年前、私たち自身が身の回りの世界へ抱いていた印象は、今振り返ると、あたかも遠い昔のことに感じられることも多くあるでしょう。また、あるひとつのSNSの情報発信が世論を一変してしまったり、世界レベルでの病気の蔓延や戦争の勃発が、決して遠い外国での出来事ではなく、私たちのごく身近な問題として、生活や常識に大きな影響を与えています。これまで人類が未経験であった、昨日までの「アタリマエ」が今日から「アタリマエでなくなる」可能性がある、変化の激しい不確実なこの時代(VUCAの時代)を生き抜くために必要な教育とは何なのか。それは、すでに解き明かされた知識を得るだけでなく、未知や失敗に積極的に興味を持ち、既知を疑い、満足せず貪欲にアップデートを求める、「学習者が自ら探究し切り開いていく体験や場を創出していくこと」だと私たちは考えます。それは見方を少し変えると、これまで時代をつくってきた偉大なサイエンティストたちの態度そのものとも言えるでしょう。

仮に「サイエンティスト」を「探究する心を持った人々」と広く捉えた時、光学や工業等をはじめとした産業・ものづくりのまち板橋には、サイエンティストの精神が広く根付いています。さらに、人々の日々の生活の中には、探究するきっかけとなるサイエンスのタネがたくさん存在しています。私たちは、創意工夫に溢れた「人の営み」そのものに焦点をあてて紹介していくことで、その営みを形作っている身の回りに潜むサイエンス、つまり学習者が自ら探究し切り開いていくきっかけとなるタネを、活きた教育機会と捉えて紹介・提供して参ります。身の回りに潜むサイエンスのタネは、通常の科学館の展示のように「宇宙」「生物」「地学」などのように整理整頓されてわかりやすく並んでいるわけではありません。それはとても細かく、混じり合い、意識しないと見過ごしてしまう形でひっそりと存在しています。私たちは、それらを興味深く見つけ出すことができる「視点」を、展覧会やワークショップをはじめとした板橋ならではのミュージアム体験を通じて、育んでまいります。

館長 清水 輝大

教育科学館について

身近な日常生活の中の科学を広く学べる科学館です。

実際に触って楽しい科学展示や、本物の恐竜化石や昆虫標本などを常設で展示中。また、科学・アート・プログラミングの教室や、個性あふれる研究員たちが自分の興味領域を研究する姿をそのままみせる「ラボ」を随時開催しています。天文スタッフによる生解説やアニメ番組が楽しいプラネタリウムも大人気です。

当館の個性豊かなスタッフを紹介します。



しみる

#学習科学 #探究学習 #STEAM教育

プロフィール

教育学や学習科学、造形教育を学び、創造的なSTEAM教育を公立ミュージアムや企業と開発。現在は研究員として自治体と連携し、主体性を育む学習環境を探究中。「しみる」として活動しつつ、実は教育科学館の館長。最近その正体がバレはじめています…?



やっちゃん

#物理学 #宇宙 #地球環境

プロフィール

大学・大学院で物理学を専攻。博士課程修了後は日本・ドイツ・アメリカの研究機関で、宇宙物理学の研究に10年ほど従事していました。そして2004年に科学館へ転職。以来、宇宙・地球・環境・エネルギー・防災・リスク・ロボット・生命などさまざまな科学を扱いながら、あらゆる科学コミュニケーション活動を実践しています。



クワちゃん

#ホネ #ウニ #骨格標本

プロフィール

学生の時に霊長類の解剖学と棘皮動物(ウニ・ナマコ・ヒトデ)の生物学について学んでいました。生きもの全般、特に変わった生きものに興味があります。月2回開催する「クワちゃんラボ」にて、骨格標本の作製工程を公開したり、骨やウニの説明をしたりしています。



かえちゃん

#教育 #生涯学習 #火山

プロフィール

来館するお客様とお話しするのが大好きで、何気ないおしゃべりの中に勉強になることがたくさんあるんだと日々感じています。おすすめの展示は2階の爬虫類たち!とても可愛くていつも癒してくれます。餌をあげる仕事が得意なので、ぜひ見に来てください。

りーちゃんママ



りーちゃんママ

#学習 #幼児 #親子

プロフィール

娘2人を絶賛子育て中ママです！子育てのお話をしたり、成長を喜びあったり。そんなあったかいくつろぎの場 licolico らぼを木曜日に開催中。あるときはプラネタリウム、あるときは科学教室。りーちゃんママはいつも元気にどこかで楽しく笑っていますよ～。科学に親しみながらのんびり一緒に楽しみましょう。

ヤマバタ



ヤマバタ

#メディア考古学 #美術 #アーカイブ

プロフィール

大学では映像を、大学院では視覚伝達デザインを学び、見せ伝える工夫とその系譜に興味をもちました。「映像文化の動態保存」を研究テーマに100年以上前に発明されたレコードやフィルムなどを集め、ヴィジュアル・コミュニケーション・デザインの諸相を一次資料から調べています。

みーな



みーな

#地質 #岩石

プロフィール

石が好きで、大学には岩石や火山について学びに行った。道端の石ころや建物の石材に吸い寄せられる習性があり、スマホの写真データは石で埋め尽くされている。科学館ではサイエンスショーや科学教室を担当しており、科学の面白さを広めたいと考えている。

かわぐっちー



かわぐっちー

#昆虫 #コウチュウ目 #クワガタ

プロフィール

横浜生まれ、静岡・千葉育ち。2024年11月から教育科学館へ。大学で生物学や農学などを学び、オサムシやゴミムシを対象に卒論の研究をしていました。幼い頃から虫が好きで、今も虫を探したり飼ったり標本を作っています。特にクワガタなどのコウチュウ目が好きです。虫の世界は果てしなく今も勉強の日々ですが、わからない虫や自慢したい虫がいたら、ぜひ見せに来てください。

ひろせさん



ひろせさん

#宇宙 #天文 #星

プロフィール

「宇宙が誕生した時、何色だったんだろう？」「星のうまれる場所ってどんなところだろう？」と想像を膨らませながら、登下校をするちょっと不思議な小学生時代を過ごしました。大学では、宇宙物理学を学び、星の誕生の研究にかかわり、現在は、教育科学館のプラネタリウムで投影者をしています。

まるちゃん



まるちゃん

#プラネタリウム #天文

プロフィール

星とネコをこよなく愛する天文担当。空ばかり見ているうちに背がのびてしまいましたが、プラネタリウムの電球交換では役に立つことも。昔の人が自由な想像力で描いた星座の魅力から、現在の科学でわかってきた宇宙の姿まで、「どんな言葉で伝えるか」にこだわって投影しています。

なつ子☆です！



なつ子☆さん

#プラネタリウム #星 #宇宙

プロフィール

1990年より「板橋区立教育科学館」勤務。その後、「さいたま市青少年宇宙科学館」「ギャラクシティ」を経て、再び、「板橋区立教育科学館」へと戻ってまいりました。現在も大学で学びながらお仕事している勤労学生。名古屋出身・・・なつ子☆です！

フナコ



フナコさん

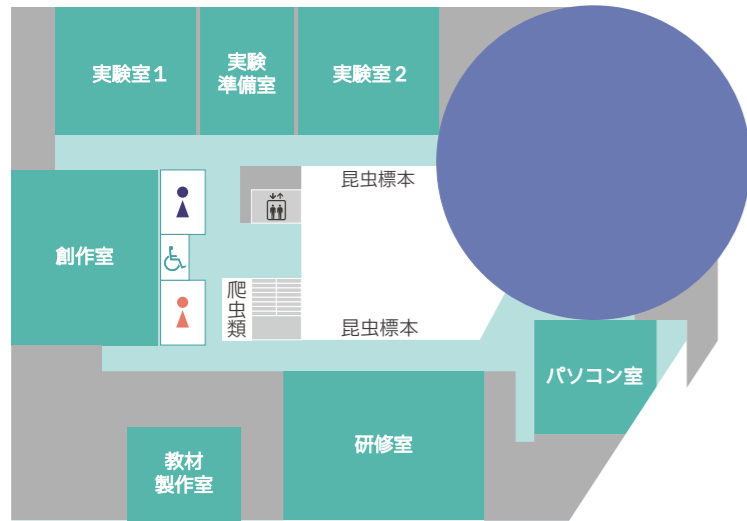
#天文宇宙 #工作 #星景写真

プロフィール

地球科学を学んだ天文宇宙好きです。天文にかかわる科学(工作)教室、プラネタリウムの担当をしています。以前は岐阜の公開天文台・生涯学習センターで、ずっと星空を見上げていました。天文台やプラネタリウムでの星空案内はもちろん、出前授業や児童生徒の天文観測、研究の支援、星空案内人の養成、工作や天文教具の開発をしてきました。

施設MAP

2F



国蝶のオオムラサキをはじめとする、日本のチョウのコーナー、ヘラクレスオオカブトやモルフォチョウなど世界の昆虫のコーナーなどの昆虫標本や、恐竜の歯の化石(レプリカ)などを展示しています。
トカゲモドキのシーランさん・こげさんが、みなさまをお待ちしています。



トカゲモドキのこげさん



日本のチョウのコーナー

1F



プラネタリウムではドームスクリーンで楽しめる番組や、スタッフによる星空の生解説をはじめ、さまざまな投影をご覧いただけます。また、ホールでは、トリケラトプスの頭骨など、恐竜の実物化石をご覧いただけます。

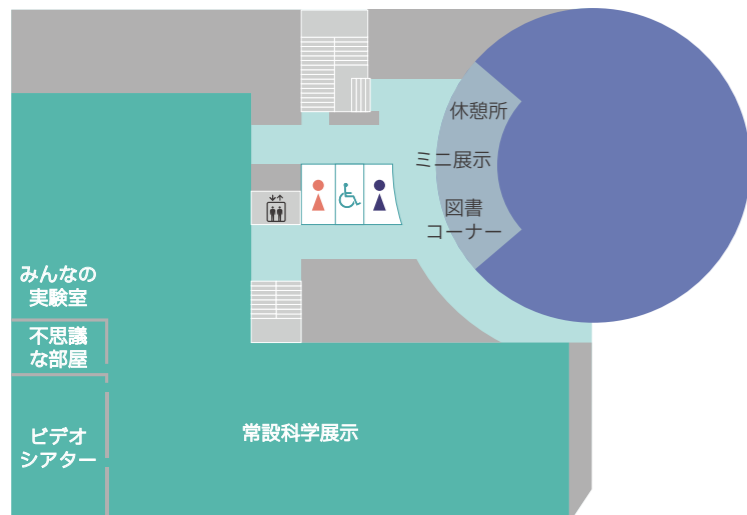


トリケラトプスの頭骨



プラネタリウム

B1F



遊んで学べる科学展示と、科学に関する絵本や雑誌が読める図書コーナーがあります。土日祝には気軽に体験できるワークショップを開催することもあります。



遊んで学べる地下展示室